

# 学級担任のまなざし 41

Okayama Prefectural Education Center

R2.8. 5[Wed]

## 「子どもをよく見ると」

社会科の学習で「都道府県カルタ」を子どもたちと作りました。帰りの会で「都道府県カルタをします。」と言うと「やったあ!」と歓声が上がります。

しかし、試合が始まると、教室は騒がしくなり、トラブルが起こります。「太郎くんがうるさくて、読み札の声がよく聞こえなかった。」というクレームが出ます。「ぼくが先に取った!」「いや、私の方が早かった!」という言い争いをするペアもあります。勝ちにこだわりすぎて自分の都合のいいように文句を言う子どももいます。自分が思うように札を取れないのでムツとしたり、ふてたりする子どももいます。

ある日、学年主任に相談しました。主任の学級でも同じように「都道府県カルタ」をしていましたが、「楽しくやっていて、特に困ったことはないけど…」とのことでした。学級の様子を伝えると、主任に言われました。「何のためにカルタをするのかを子どもたちに伝えないといけないわね。社会の学習の発展でもあるけど、ルールやマナーを守る大切さを学ぶということも伝えないとね。それから、ちゃんとしている子どもを取り上げてほめることも忘れないでね。」

翌日、試合前にルールとマナーを確認し、試合中は子どもの様子を見取り、試合後に取り上げてほめました。騒然としていた時は見えていなかった子どもの姿が見えました。札を取った後も静かに待っている子ども、同時に同じ札を取ったとき黙ったままジャンケンをしているペア、試合が終わると「ふー」というため息をつくほど集中している子ども、負けても悔しさをぐっところえて「次は勝つから」と微笑んでいる子ども…。どんな状況の中でも、がんばっている子どもがいるのだと改めて知りました。